

## 第 381 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 30 年 3 月 26 日（月） 13 時 30 分～15 時 40 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 基準諮問会議からの報告
- (2) 企業会計基準「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針「収益認識に関する会計基準の適用指針」【公表議決】
- (3) 2018 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応
- (4) IFRS 第 16 号「リース」等のエンドースメント手続
- (5) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示（非金融商品）の検討
- (6) 専門委員の選退任

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 基準諮問会議からの報告

高濱基準諮問会議副議長より、第 32 回基準諮問会議（平成 30 年 3 月 8 日開催）における審議の結果、『経営者が会計方針を適用する過程で行った判断』及び『見積りの不確実性の発生要因』に関する注記情報の充実』については、ディスクロージャー専門委員会に、国際的な動向も含め開示全体の動向を踏まえ、当該開示を行う場合の具体的な範囲や当該開示を行った場合の有用性について検討することを依頼する等の報告が行われた。

(2) 企業会計基準「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針「収益認識に関する会計基準の適用指針」【公表議決】

小賀坂副委員長及び川西ディレクターより、企業会計基準「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針「収益認識に関する会計基準の適用指針」について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(3) 2018 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応

小賀坂副委員長及び川西常勤委員より、2018 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議における議題のうち、「開示に関する取組み－開示原則」及び「のれん及び減損」への対応について説明がなされ、審議が行われた。

(4) IFRS 第 16 号「リース」等のエンドースメント手続

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより、IFRS 第 16 号「リース」のエンドースメント手続に関してコメント募集案の形式にした事務局の評価について説明がなされ、第 42 回 IFRS のエンドースメントに関する作業部会（平成 30 年 3 月 12 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

また、修正国際基準公開草案第 5 号『修正国際基準（国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準）』の改正案に寄せられたコメントへの対応に

についても説明がなされ、第 42 回 IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況も踏まえ、審議が行われた。なお、可能であれば、次回以降の委員会において、改正修正国際基準の公表承認に関する審議を行いたい旨が説明された。

**(5) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示（非金融商品）の検討**

小野委員長及び川西ディレクターより、金融商品以外の公正価値測定に関するガイダンス及び開示に関して国際的な会計基準と整合性を図ることの必要性について説明がなされ、審議が行われた。

審議の結果、金融商品の公正価値測定に関するガイダンス及び開示に関して国際的な会計基準との整合性を図る取組みに着手する旨、及び、金融商品以外の公正価値測定に関するガイダンス及び開示に関して国際的な会計基準との整合性を図る取組みに着手しない（ただし、トレーディング目的で保有する棚卸資産等の検討は別途行う。）旨が確認された。

**(6) 専門委員の選退任**

小野委員長より、金融商品専門委員会等の専門委員の選退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続を行うこととされた。

以 上